

臨床福祉専門学校 言語聴覚療法学科  
平成 25 年度 学校関係者評価報告書

1. 議事要約

1) 学校関係者評価に関する説明

配布資料をもとに、職業実践専門課程と学校関係者評価の関連、自己点検・自己評価の実施状況、今後の学校関係者評価のスケジュール等について事務局が説明した。

2) 学校関係者評価の議事要旨

自己点検・自己評価の項目のうち2項目について意見交換を行い、以下の通り評価を行った。

① 教育理念や育成人材像について（基準1「教育理念・目的・育成人材像」）

学校の教育理念や育成人材像が、より明確に示されると良いとの評価がなされた。育成人材像の明確化は、自己評価の総括としても述べられているところであったので、次年度へ向けて学校基本情報の内容の精査とホームページの改編を含めた公開形式を検討してほしい。

② 学内情報の公開について（基準9「法令等の遵守」）

企業等に所属する外部委員の目から見ると、学科のカリキュラムの全体像や個々の科目の内容がホームページなどからは判りにくく、本学科の特徴や目指すべき資格取得後の姿などがやや希薄なのではないかとの意見が寄せられた。この指摘は、そのまま本校に関心を持つ入学希望者や、学生の保護者等の目線とも共通するものと思われる。

この点について意見交換を深める中で、年度当初に学生に配布しているシラバスをホームページで公開するという改善策が浮上。但し、科目担当者には多くの非常勤講師も含まれるため、校長・全学科長が出席する学内の意思決定機関で検討して頂く。

2. 総括

今回の委員会では、本校の情報提供体制に対し多く意見があった。企業等の役職者等である評価委員が本校の言語聴覚療法学科の教育運営や体制を把握し、適切な評価を行うことが出来るよう、まずは教育内容の公開を適宜進めることが望ましい。

本委員会は、言語聴覚士と「聴覚障害」の分野を共有する、補聴器や人工内耳などに関わる諸団体や企業の方々を中心とした各委員から成るため、卒業後（資格取得後）の職種間の連携までをも視野に入れた実践的な意見交換が行われた。そのため、ここで議論された内容は、本校の職業教育の在り方を検討していく上で、非常に参考になるものであったと言える。

今後は、継続的に学校関係者評価の内容を、本校の意思決定機関である拡大学科長会議にて

吸い上げ、次年度の重点目標の設定や改善に積極的に活かすことを望む。

以上